

令和2年度9月補正予算の概要

令和2年9月4日

1 予算規模（一般会計）

補正額	1, 835百万円（令和元年度9月補正	2, 667百万円）
補正後	381, 424百万円（前年度同期	352, 223百万円）
補正前	379, 589百万円	
〔財源 国庫支出金 835百万円、県債 417百万円、寄附金 74百万円 基金繰入金 325百万円、繰越金 184百万円〕		

2 主な内容

新型コロナウイルスの感染は、依然として収束を見ず、本県経済や県民生活に大きな影響をもたらしている。この状況において、本県においては、民間検査機関によるPCR検査機導入への支援や感染症対策に係る人材育成、さらには、インフルエンザとの同時流行に備えた対策など、さらなる医療提供体制の充実と感染防止対策を図る。

また、アフターコロナを見据えた新たなビジネス展開や障がい者雇用におけるテレワーク導入等への支援、県産農林水産物等の非対面型の輸出促進活動への助成など、新型コロナウイルス影響下における新たなビジネスモデルの創出を進めるとともに、県内等で修学旅行を実施する場合の支援や地域の足であるバス路線維持のための緊急支援など、県内経済の回復と暮らしの再生に向けた取組を進める。

加えて、県産和牛の保護・振興やナラ枯れ対策、さらには、弓ヶ浜サイクリングコースの整備や県立スポーツ施設の改修など、未来に向けた事業にも積極的に取り組む。

3 主な事業

○新型コロナウイルス対策（計742, 668千円）

<医療提供体制の充実と感染防止対策>（計491, 000千円）

- ・医療環境整備等事業 465, 982千円
(R3~5債務負担行為 105, 000千円)

民間検査機関のPCR検査機導入に対して支援するとともに、ドライブスルー方式による検査の拡大、医療機関の検査機器の活用等による検査体制の強化や、県内の感染症対策に貢献する専門的知識を有した人材育成及び教育・研究等のための寄附講座を設置する。（健康政策課）

- ・インフルエンザとの同時流行に備えた対策事業 5, 000千円

今冬は新型コロナウイルスとインフルエンザとの同時流行が懸念されることから、インフルエンザワクチンの優先的な接種対象者への呼びかけや受診方法に係る広報等、同時流行に備えた各種対策を行う。（健康政策課）

- ・教育関係施設感染症予防対策支援事業 …………… 3,000千円
フリースクールや各種学校等教育関係施設が行う新型コロナウイルスの感染予防対策に対して助成する。 (総合教育推進課)
- ・文化施設空調設備更新事業 …………… 17,018千円
とりぎん文化会館及び倉吉未来中心の空調及び換気設備について、新型コロナウイルス感染予防に係る機能保全のための更新を行う。 (文化政策課)

＜県内経済の回復と暮らしの再生＞ (計251,668千円)

- ・アフターコロナを見据えた新ビジネス展開支援事業 …………… 20,500千円
(R3～5債務負担行為 15,500千円)
新たなビジネスの創出、将来性のある企業のオフィス・研究開発拠点等の本県への誘致、感染拡大防止に伴うオフィス分散やテレワーク推進に適したオフィス需要への対応など、アフターコロナを見据えた新たなビジネス展開を支援する。 (立地戦略課、産業振興課)
- ・とっとり企業支援ネットワーク連携強化事業 …………… 1,000千円
県内中小事業者等の経営、金融を支援する「とっとり企業支援ネットワーク」により、資本金劣後ローンの活用等を希望する企業に対して支援を行う。 (企業支援課)
- ・障がい者雇用におけるテレワーク等導入モデル事業 …………… 2,250千円
障がい者を対象としたテレワークの導入を検討している企業等に対し、県内支援機関等と連携し、障がい者業務のテレワーク対象業務の選定やテレワークシステムの開発・導入、さらには、障がい者のテレワーク機器の操作支援などを行う。 (雇用政策課)
- ・県内等修学旅行支援事業 …………… 7,000千円
県立学校(高校、特別支援学校)が修学旅行等を県内等で実施する場合の費用について支援することで、生徒がふるさとについて学ぶ機会を創出し、地域への愛着を育む。 (特別支援教育課、高等学校課)
- ・県内等修学旅行支援事業(私立学校) …………… 3,000千円
私立学校(私立中学校、私立高等学校)が修学旅行等を県内等で実施する場合の費用について支援することで、生徒がふるさとについて学ぶ機会を創出し、地域への愛着を育む。 (総合教育推進課)
- ・新型コロナウイルス対策路線バス事業者緊急応援事業 …………… 100,000千円
地域の基幹インフラである路線バスの維持・運行を続けている事業者に対して、バス路線を維持確保するために緊急支援を行う。 (地域交通政策課)
- ・「食のみやこ鳥取県」推進サポーター等情報発信強化事業 …………… 3,000千円
「食のみやこ鳥取県」推進サポーターをはじめとする飲食店等の経営継続・事業回復に向け、県のホームページや地元密着型の情報媒体等を活用して、本県の食材や飲食店等の魅力を発信する。 (食のみやこ推進課)

- ・ **新型コロナウイルス感染症に対応した輸出促進活動支援事業** …………… 15,000千円
 新型コロナウイルスの影響により、現地に赴いての営業活動が困難となっている中、県産農林水産物等の輸出事業者が、非対面型の営業など新たな形での輸出促進活動に取り組むことに要する経費に対して助成する。 (販路拡大・輸出促進課)
- ・ **農林水産物消費回復・拡大緊急プロジェクト支援事業** …………… 6,000千円
 農林水産物の消費回復・拡大に向け、県産材のJAS構造材を使用した非住宅の新築、増築など、農林水産業関係団体が行う取組を支援する。 (とっとり農業戦略課)
- ・ **保育間伐による雇用支援事業（新型コロナウイルス対策）** …………… 52,000千円
 林業の雇用維持と、適切な管理による持続的な林業経営に向けて、林業事業者が行う木材搬出を伴わない保育間伐等の施業を支援する。 (森林づくり推進課)
- ・ **「とっとりジビエ」魅力発信によるブランド力強化事業** …………… 2,500千円
 東京と鳥取のレストランをオンラインでつなぎ、とっとりジビエの魅力を紹介する「とっとりジビエ座談会」を開催するとともに、全国ジビエ自治体協議会（仮称）と連携して、「とっとりジビエ」の美味しさや魅力について情報発信する。 (食のみやこ推進課)
- ・ **鳥取県ひとり親家庭等高等教育進学支援基金助成金事業** …………… 4,000千円
 県民からの寄附金を活用し、ひとり親家庭等の子で大学等に進学する者の入学準備に必要な経費を支援する基金事業に対して助成する。 (家庭支援課)
- ・ **消費生活センター事業費** …………… 1,500千円
 高齢者等の「配慮を要する消費者」が、新型コロナウイルスに便乗した新たな消費者トラブルに巻き込まれる被害を未然に防止するために、市町村が行う被害防止効果のある通話録音機能付電話機等の購入を支援する。 (消費生活センター)
- ・ **弓ヶ浜サイクリングコース観光振興事業** …………… 8,932千円
 弓ヶ浜サイクリングコースについて、安全で快適なコースにするための整備を行うことで、観光振興を図る。 (西部総合事務所地域振興局西部観光商工課)

○その他（計1,092,295千円）

- ・ **鳥取県産和牛の保護及び振興事業** …………… 7,000千円
 県産和牛の保護及び振興に係る計画を策定するとともに、県産和牛のさらなるPRにより鳥取和牛のブランド化の取組を強化する。 (畜産課)
- ・ **ナラ枯れ対策事業** …………… 9,720千円
 大山周辺において、ナラ枯れが広範囲に発生しているため、紅葉シーズンを前に、国や市町と連携して大山環状道路を中心に伐倒駆除等を行う。 (森林づくり推進課)
- ・ **米子新体育館整備検討事業** …………… 4,200千円
 県立米子産業体育館、米子市民体育館及び米子市宮武道館を統廃合し、新体育館を県・米子市共同で整備するにあたり、基本計画を策定する。 (資産活用推進課)

- ・鳥取県の美しい星空が見える環境の保全と活用事業 …………… 3, 000千円
 惑星探査機「はやぶさ2」の地球帰還により、宇宙科学や天文に関心が高まるこの機会を捉え、岡山大学惑星物質研究所等と連携して、はやぶさ2関係者による講演や貴重な採取物質のライブ配信等を行う。 (環境立県推進課)
- ・社会的養育により生活する子どもの権利擁護支援事業 …………… 1, 400千円
 社会的養育により生活する子どもに権利を伝え、権利が侵害された際にその解決方法を説明した小冊子「子どもの権利ノート」の内容を見直し、専門家の意見を踏まえた上で新たな権利ノートを作成する。 (家庭支援課)
- ・新生児聴覚検査体制整備事業 …………… 18, 000千円
 新生児の聴覚障がい早期発見・早期療育が図られるよう、産科医療機関の聴覚検査機器導入に要する経費に対して助成する。 (子ども発達支援課)
- ・衛生環境研究所管理運営費 …………… 153, 202千円
 (R3債務負担行為 246, 920千円)
 衛生環境研究所の熱源設備及び付随する空調設備について、経年劣化に伴う改修を行う。
 (衛生環境研究所)
- ・都市公園維持費(公共事業) …………… 89, 369千円
 県立布勢総合運動公園陸上競技場について、第1種公認競技場(国体、日本選手権等の全国規模、国際的な競技会の開催が可能となる競技場)の公認継続のため、必要な施設修繕を行う。
 (緑豊かな自然課)
- ・倉吉自転車競技場整備事業 …………… 5, 102千円
 倉吉自転車競技場について、大規模大会の実施に向けた走路改修の追加工事と、施設の適切な維持管理に向けた水道設備の改修に係る調査及び応急措置を行う。 (スポーツ課)

<公共事業>	136, 369千円
<ul style="list-style-type: none"> ・補助事業(道路、治山) …………… 23, 600千円 ・単県事業(都市公園、道路、砂防) …………… 112, 769千円 	
(緑豊かな自然課、道路企画課、治山砂防課)	